

熱源



[熱源_下载链接1](#)

著者:川越宗一

出版者:文藝春秋

出版时间:2019-8-28

装帧:单行本

isbn:9784163910413

樺太(サハリン)で生まれたアイヌ、ヤヨマネクフ。開拓使たちに故郷を奪われ、集団移住を強いられたのち、天然痘やコレラの流行で妻や多くの友人たちを亡くした彼は、やがて山辺安之助と名前を変え、ふたたび樺太に戻ることを志す。

一方、ブロニスワフ・ピウスツキは、リトアニアに生まれた。ロシアの強烈な同化政策により母語であるポーランド語を話すことも許されなかった彼は、皇帝の暗殺計画に巻き込まれ、苦役囚として樺太に送られる。

日本人にされそうになったアイヌと、ロシア人にされそうになったポーランド人。

文明を押し付けられ、それによってアイデンティティを揺るがされた経験を持つ二人が、樺太で出会い、自らが守り継ぎたいものの正体に辿り着く。

樺太の厳しい風土やアイヌの風俗が鮮やかに描き出され、

国家や民族、思想を超え、人と人が共に生きる姿が示される。

金田一京助がその半生を「あいぬ物語」としてまとめた山辺安之助の生涯を軸に描かれた、

読者の心に「熱」を残さずにはおかない書き下ろし歴史大作。

作者介绍:

目录:

[熱源 下载链接1](#)

标签

直木赏

日本文学

56酱

2020

评论

1.22-2.21整整用时一个月。今年的直木奖，超出“好看”“精彩”的范畴，说是“史诗级别”可能也有点过，但就是能让人在众多“习以为常”的麻木中忽觉一阵钝痛，跨越古今地反观这个世界的众多不合理。“热源”是人在绝境中活下去的本能，是让我们保持心脏跳动的原动力。所谓文明，不是那些自称“文明人”为满足一己私欲而强取豪夺、扩张征服的虚伪外壳，而是对彼此心中“热源”的理解与尊重。

[热源_下载链接1](#)

书评

[热源_下载链接1](#)